

図書館だより

さいたま市立つばさ小学校 図書館



読書月間の10月には、右の表のように全校で
3,302冊の本が貸し出しされました。
これからもたくさんの本と出会ってくださいね。

1年生	898
2年生	648
3年生	463
4年生	703
5年生	206
6年生	285
10組	99
合計	3,302



読書の木が、今年も見事に育ちました！

「わたしの葉っぱみつけた！」
「この本、知ってる！」
「こんど読んでみよう！」
読書の木の前から、色々な会話が聞こえます。
色とりどりの葉っぱが、とてもきれいです。
葉っぱには、それぞれのおすすめの本の題名
が書かれています。読んでみたい本があったら
図書館で探してみてください。
(葉っぱの中に、何かの文字が隠れています。
図書館まで見に来てくださいね。)



読書クイズ

読書月間にたくさんの物語と出会ったと思います。
簡単な読書クイズに挑戦してみませんか？



- 問題 (1) 『バムとケロのそらのたび』で、たまねぎ山脈の上を通るとき、ゴーグルをするのはなぜでしょう？
- 問題 (2) 『ともだちや』で、ともだちやを始めたキツネは、オオカミからどんな宝物をもらったでしょう？
- 問題 (3) 『こそあどの森の物語』で、主人公のスキッパーは、どんな家に住んでいるでしょう？
- 問題 (4) 『わすれられないおくりもの』で、アナグマは、キツネに何を教えてくれたでしょう？
- 問題 (5) 『ハリー・ポッター』で、ハリーは魔法学校に何歳で入学したでしょう？

さて、何問答えられましたか？

- 答え (1) 涙が止まらなくなるから (2) ミニカー (3) ウニマル (4) ネクタイの結び方 (5) 11歳



フックスランチ

11月13日(金)は、本と給食のコラボ!

お話に出てくる食べ物が給食のメニューに!



『おとうふ百ちょう あぶらげ百まい』
 三田村信行・作 長野ヒデ子・絵
 (あかね書房)

11月13日(金)の給食献立《こぎつねずし》



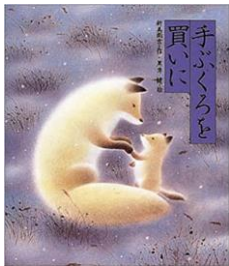
三田村信行・作 長野ヒデ子・絵

(あかね書房)

近くにスーパーができてから、お客さんがめっきり減ってしまった町はずれのおとうふやさんに、ある日、男の子が「おじさんちのおとうふやあぶらげ、おいしい?」とたずねてきました。おとうふやさんは、「おかねはいらないよ。そのかわり、おもしろかったら、また買いにきておくれ」と言います。その男の子は、実はきつねの子で、病気で寝込んだ姉に食べさせてあげるため、毎日おとうふとあぶらげを買いにくるようになります。

そのおかげで元気になった姉がお嫁入りすることになり、お祝いのためにおとうふ百ちょうとあぶらげ百まいがほしいと言いに来ます。

“きつね”や、“おとうふ”が登場するお話を紹介します!



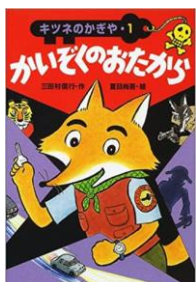
「手ぶくろを買いに」
 新美蘭吉・作 黒井健・絵
 (偕成社)

雪の夜、母きつねは、子ぎつねの片手を人間の子どもの手に変え、町に手ぶくろを買いに行かせます。お店の人に気づかれないうち注意されますが、子ぎつねは、人間にきつねの手の方を見せつけてしまいます。



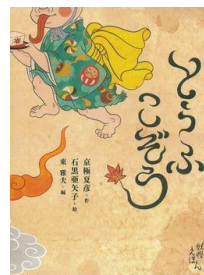
「祖徠どうふ」
 宝井琴調・文 ささめやゆき・絵
 (福音館書店)

はたらき者のとうふ屋七兵衛さんは、ひとりのおさむらいに出会います。おさむらいはなににもつけずに一丁ペろりと食べて「とうふ代は後ではらう」というのですが、実はとうふ代もはらえないほどまずしい暮らしをしているのでした。



「きつねのかぎや」シリーズ
 三田村信行・作 夏目尚吾・絵
 (あかね書房)

どんなかぎでもあけることができる、キツネのかぎやが、ある事件にまきこまれます。オオカミにピストルをつきつけられ、「くろネコ船長の宝物の箱のかぎをあけろ」とおどされたキツネのかぎやの運命は?



「とうふこそう」
 京極夏彦・作 石黒亜矢子・絵
 (岩崎書店)

おばけはこわい。どこまでもついてくる。部屋に入ってきたらどうしよう。こわくて眠れない。なにかがふとんのう上にのかった! ふとんのう上にいたのは? おとうふをお盆に乗せて見せに来るだけの子どもの妖怪でした。